

皆さんは一日の中で、 こんなに税金とかがわっています。

10:00PM



勉強のあと就寝
安心な夜、日々の安全を守る警察や消防も、税金がなくては成り立ちません。

6:30AM



起床・朝食
洗面や食事の調理に使う大切な水。その上下水道も税金で整備されています。

7:00PM



だんらん・夕食
安全な食品を作るための農業・漁業の支援にも、税金は重要です。



7:30AM



登校
学校に安全に通うための道路や信号なども、税金でつくられています。

3:30PM



部活動
大会などが行われる陸上競技場や野球場などの施設づくりにも、税金が役立っています。

8:30AM



授業
学校など教育施設の建設や、机・椅子・教科書にも税金は使われています。

税金は私たちの暮らしを支えています

中学生の皆さんも税金にはいろいろなところでかかわっていますね。私たちが、健康で文化的な生活を送るために、国や都道府県、区市町村はさまざまな活動や事業を行っています。それらに必要な費用をまかなっているのが税金です。税金についてよく知ることは、私たちのよりよい暮らしを、私たち自身が考えていくためにとても大切です。

歳出 ~税金の使いみち~

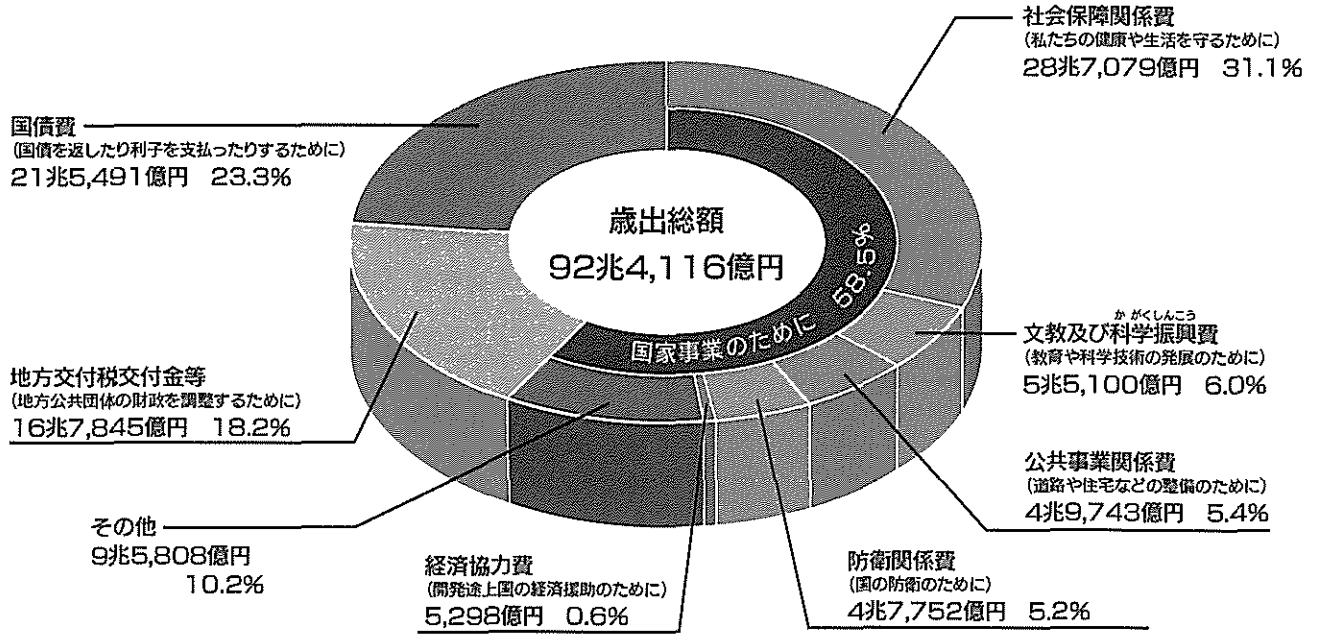
税金などは、次のグラフのように、国や東京都が1年間(4月から翌年3月まで)に仕事をするために支出されています。この支出のことを歳出といひます。

国の歳出の内訳

一般会計歳出

(平成23年度当初予算)

国では1年間に92兆4,116億円も使われています。

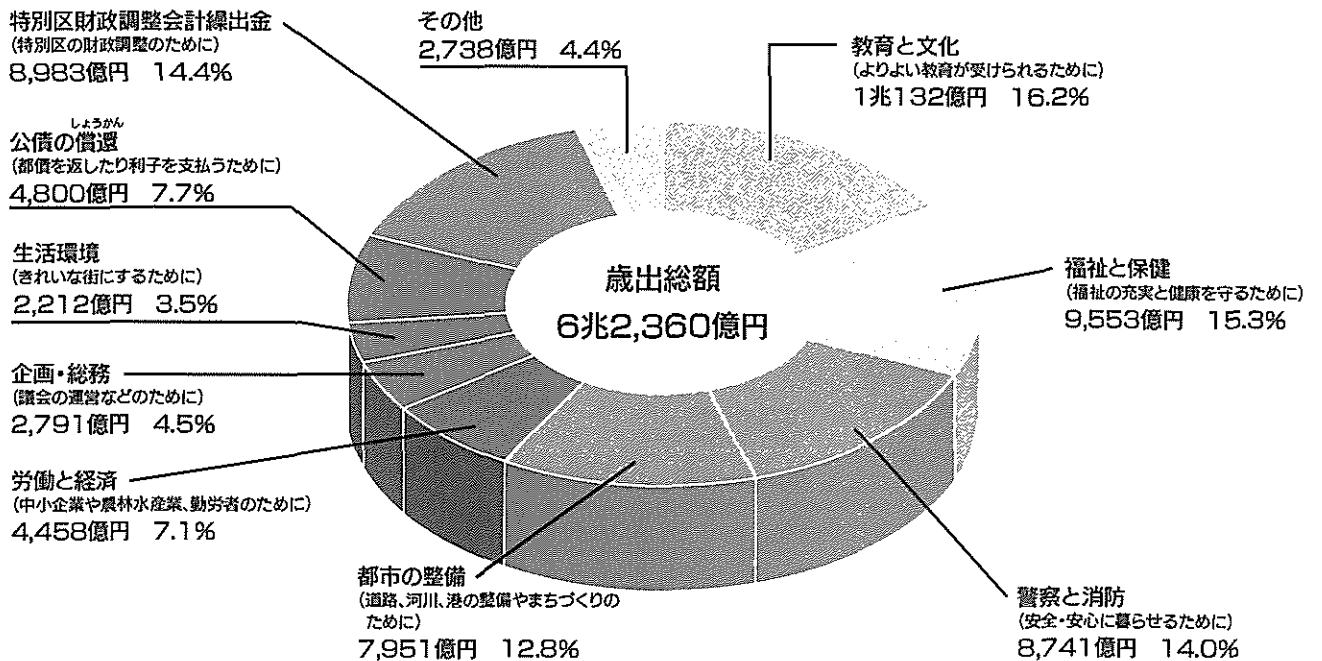


東京都の歳出の内訳

一般会計歳出

(平成23年度当初予算)

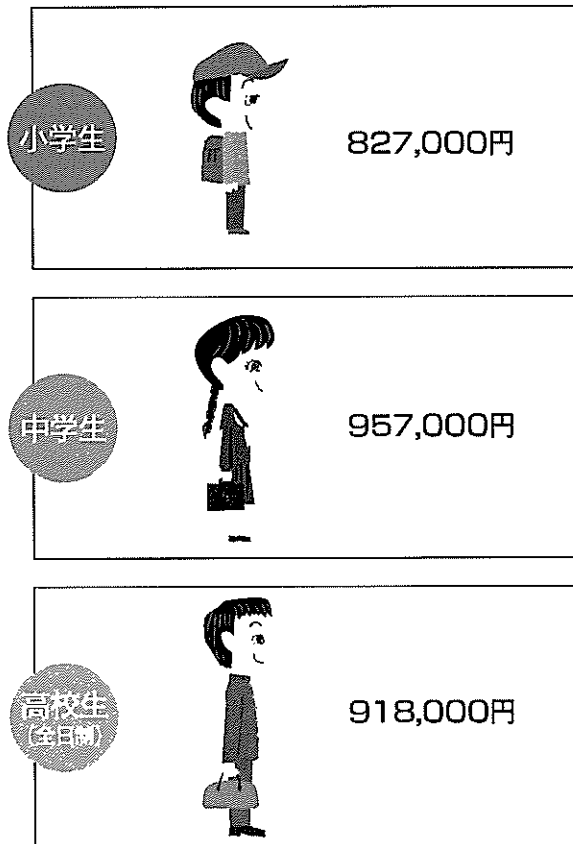
東京都の予算の内訳を見ると、「教育と文化」や「福祉と保健」などに多くの税金が使われています。東京都では、限りある予算の中で、都民が安全・安心に暮らせるよう、また希望を持てる社会をめざして、「福祉・医療の充実」、「治安対策」、「道路や橋の整備」、「環境対策」などの施策に重点を置いています。



教育に使われる税金

公立学校の児童・生徒一人あたりの年間公費負担額 (平成20年度)

(全国平均)



義務教育期間 (9年間) の公費負担額

(小学生) 827,000円×6 (年)
 (中学生) 957,000円×3 (年) > 7,833,000円

東京都の公立学校の児童・生徒一人あたりの年間公費負担額 (平成21年度)

小学生・・・1,025,000円
 中学生・・・1,378,000円
 高校生 (全日制)・・・1,343,000円

私立学校にも「補助金」という形で税金が使われています。

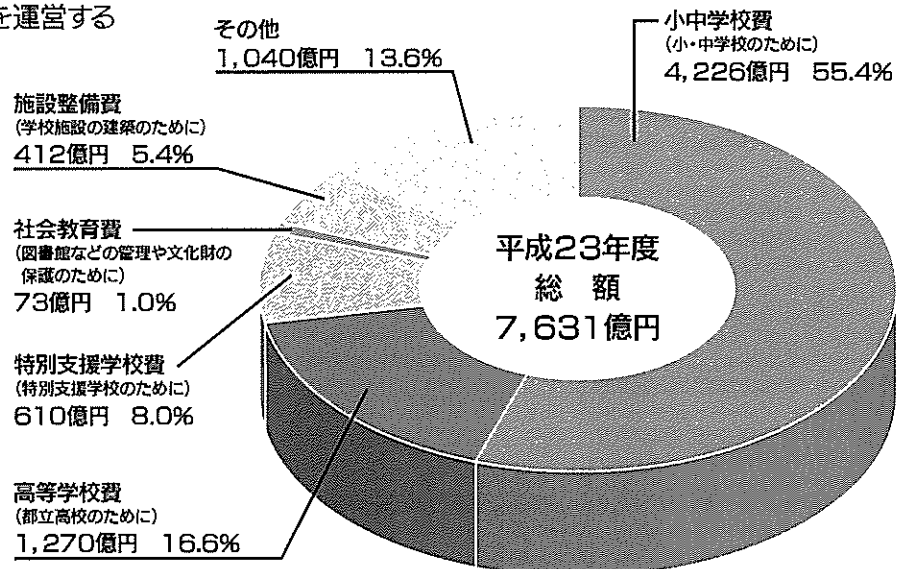
P.2の国の歳出における「文教及び科学振興費」の中の「教育振興助成費」の一部に私立学校に対する「助成金」が含まれています。

東京都1私立学校あたりの補助額 (平成21年度実績)

高等学校・・・2億7千万円
 中学校・・・1億5千万円
 小学校・・・1億2千万円
 幼稚園・・・4千万円

東京都の歳出における教育費 [総額7,631億円]

東京都でも歳出総額の約12%を教育費にあてており、その約55%が公立の小・中学校を運営するために使われています。



2ページの「教育と文化」(1兆132億円)には、この教育費(7,631億円)のほかに、私立学校の補助金や文化の振興のための費用が含まれています。